

制度改革に対応した**新**入退院業務体制

～ 新入退院業務の設計・移行・稼働の流れ～

<入退院業務体制構築_No.1>

2017.12.25

医療ソフト総合研究所

入退院_01001

新入退院業務体制

達成ビジョン

「**退院後の安定した療養生活の維持**」を目指して、入院当日から提供する入退院業務体制

背景・理由

- ① **地域包括ケアシステムに対応**した入退院業務体制への切り替えが不可欠であること
- ② 同時改定において**入院時から退院後**までの「入退院業務」が注目されてきたこと
- ③ **院内と院外**の**多職種連携業務**の効率化が不可欠なこと

新入退院業務体制稼働までの流れ

新業務体制の設計

新業務体制の周知

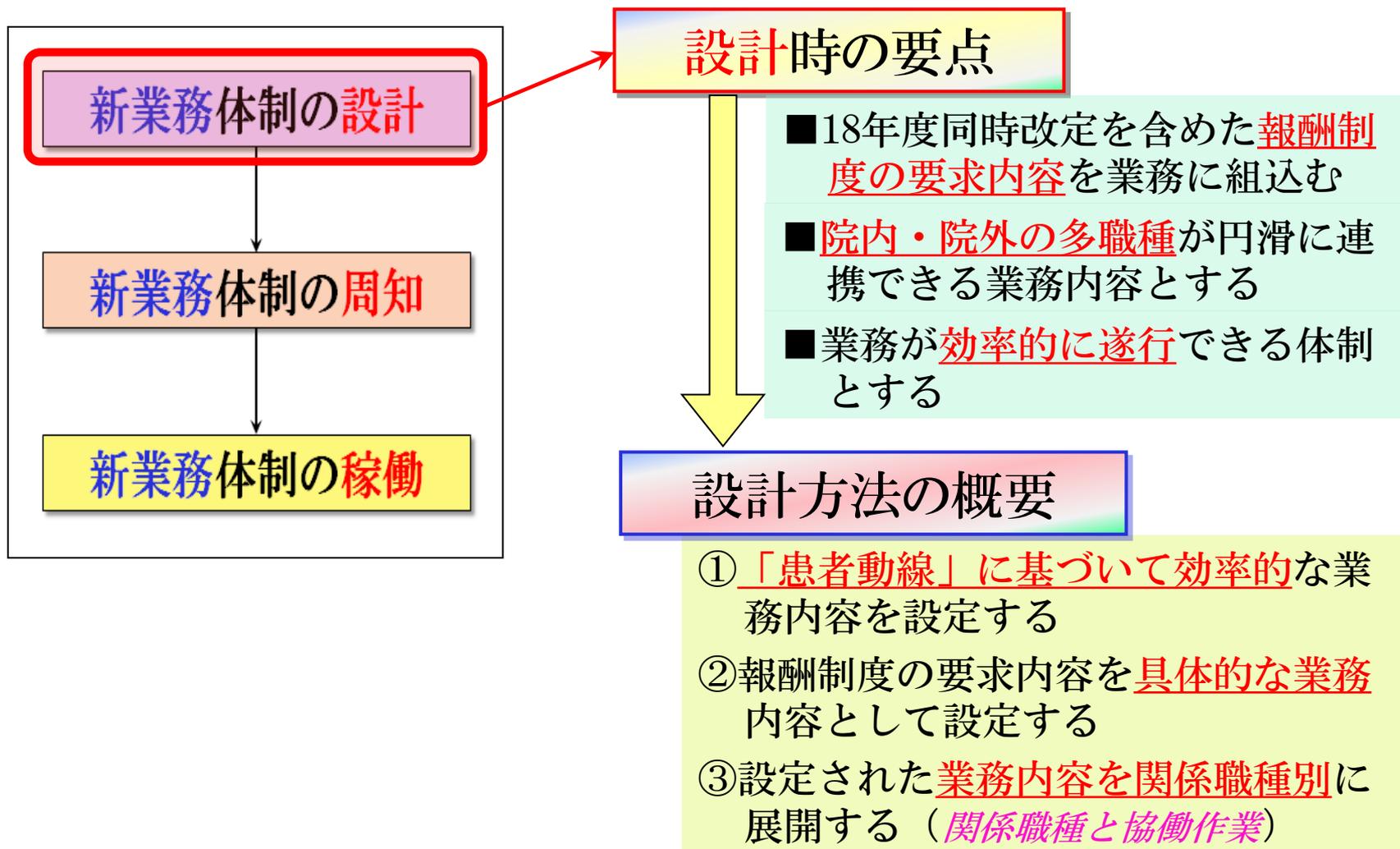
新業務体制の稼働

新入退院業務体制稼働までの流れ

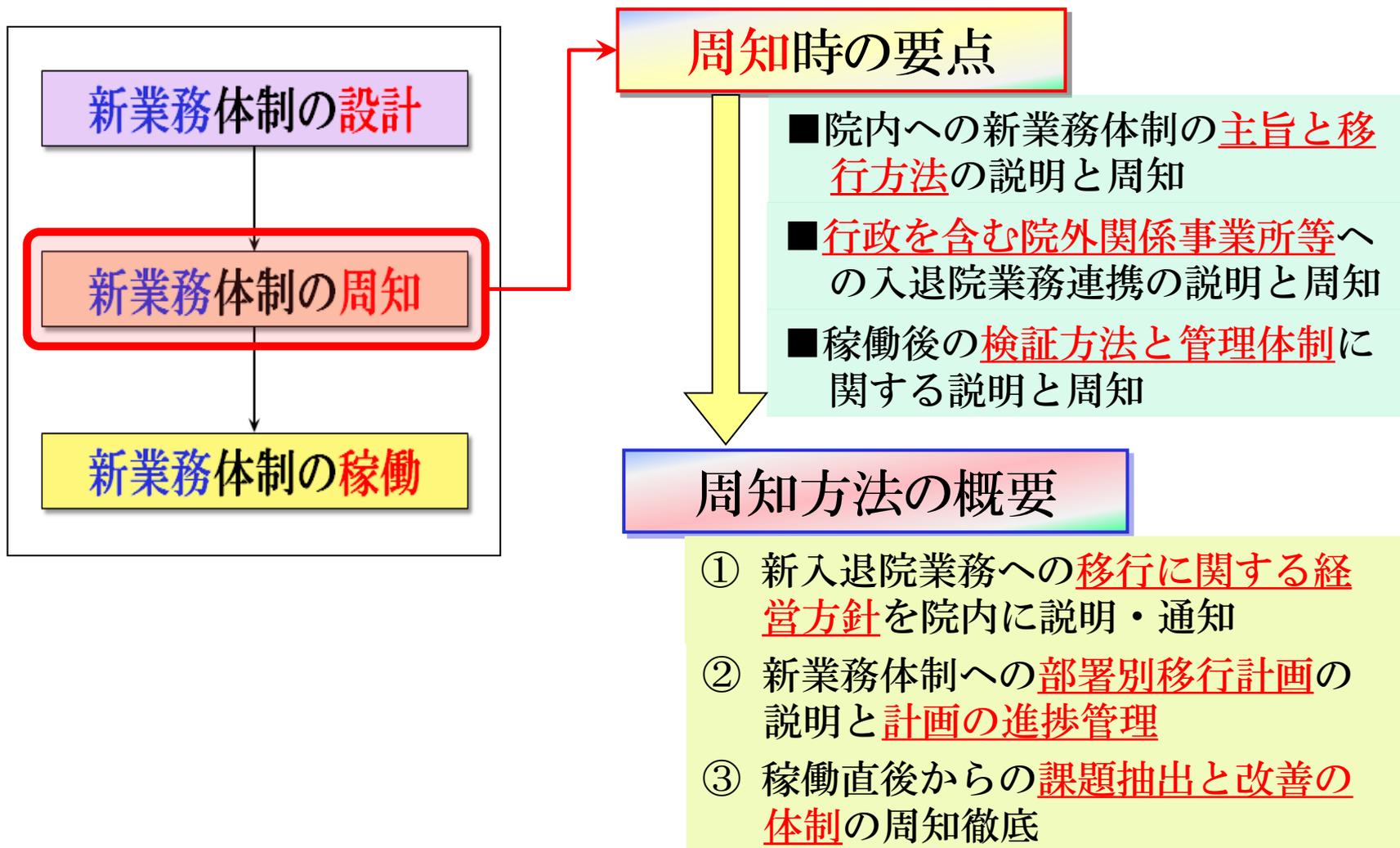
2020年度以降の報酬改定の要求内容に
日常業務を混乱させないで、
的確に日常業務で実践する方法を、
この2年間で習得すること

4月からの「入院医療報酬体系」も視野に入れる

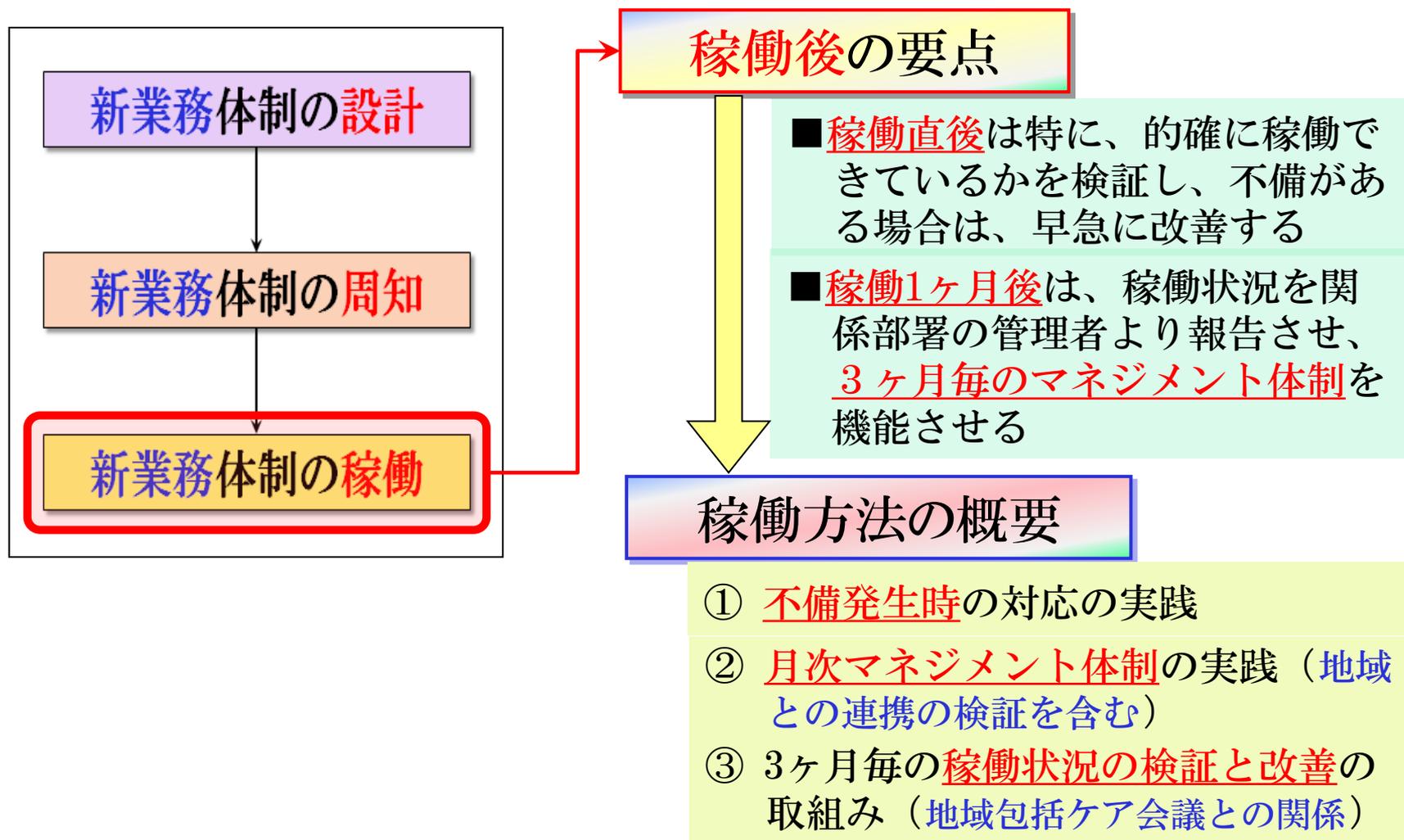
新入退院業務の設計時の留意点



新入退院業務の周知時の留意点



新入退院業務の稼働時の留意点



今後の新入退院業務構築について

入退院業務構築②の解説内容

次回は、今回解説した最も重要となる「業務構築設計」について、患者動線に基づいた入退院業務体系について解説します。

同時改定内容の展開について

18年度4月の介護報酬改定で、ケアマネ、リハビリ、管理栄養士、開業医等との入退院業務に直接影響する内容があります。

これらに関しては、改定内容が明確になった時点で、制作した入退院業務に組込んでいきます。